働く仲間のたすけあい

共済コーナー

個人賠償責任共済

年間掛金1,700円で
賠償額２億円

示談代行付

2022年4月1日効力開始の個人賠償責任共済の継続と新規募集時期となりました。個人賠償責任共済は、通勤、通学の自転車の賠償事故への対応はもちろん、「水漏れにより階下に損害を与えた」など、日常のくらしで突然起こってしまう賠償事故にも対応。また「友人から借りたカメラを誤って破損した」など「受託品」（「受託品」のうち、携帯電話・パソコン・100万円を超える物品、などなど対象外のものあります）も対応です。

個人賠償責任共済の掛金は年間1700円。最高賠償額は2億円で、示談代行付です。組合員本人の加入で、同居の親族と別居の未婚の子まで補償されます。

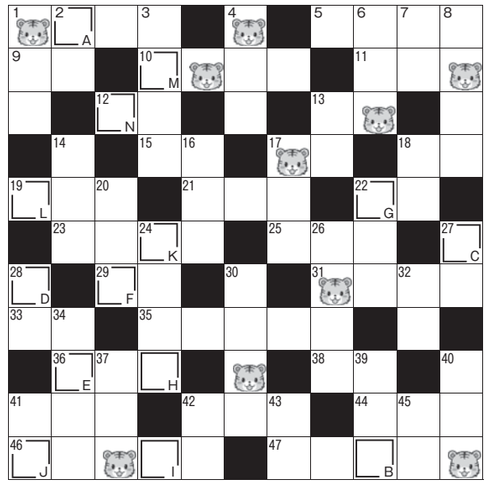
年1回の募集時期を逃さず、個人賠償責任共済の加入で、日常生活の賠償事故に備えましょう。

新春クロスワードパズル

皆様、明けましておめでとうございます。今年もクロスワードで頭を活性化してください。さて2022年寅年にちなみ、あちこちに虎のイラストが入っていますが、そこは意味に関係なくトラと読み替えてください。クロスを解いた後、アルファベットの文字順（A～N）に並べてできた言葉が答えです。

ヒント：トラのことわざ、大きな成功には危険が伴う

出題者：山本汎昭さん



タテのカギ

❶陸上競技のフィールド競技と〇〇〇〇〇競技
❷〇〇を大にして叫ぶ
❸島崎藤村の詩、まだ上げ初めし〇〇〇〇の
❹アメリカ合衆国の前大統領
❻リストラクチュアリングの略
❼干支の七番目
❽投手の制球力が悪く全然〇〇〇〇〇が入らない
❿旧国名で和歌山県の大部分と三重県南部
⓮船を停泊する時におろすもの
⓰アダムとイブが追放された〇〇〇の園
⓱ゴミ屋敷のため近隣住民と〇〇〇〇が発生した
⓲答←。次の〇〇に答えよ
⓴無数にあること、〇〇〇万象
㉒競争入札によらない〇〇〇契約
㉔人事院勧告、略して〇〇〇
㉖ストとも略される。ゼネラル〇〇〇〇〇
㉗〇〇の一声
㉘空にかける七色の〇〇
㉚「中心の」という意味。〇〇〇〇〇リーグ、〇〇〇〇〇パーク
㉜見こみ。〇〇がはずれる
㉞向かいあうこと。面会すること
㊲サウンドトラックの略
㊴色気より〇〇〇
㊵軽トラックの略
㊶相撲の準備運動のひとつ。〇〇を踏む
㊷きねと〇〇で餅をつく
㊸ちょうどよいおり。それを〇〇に席を立つ
㊺プロパン〇〇、都市〇〇

ヨコのカギ

❶結膜炎。トラホームのこと
❺オオイヌ座の首星で白い1等星
❾転ばぬ先の〇〇
❿フランス語で異邦人
⓫2004年末にこの島の北端沖で大地震が発生した
⓬図工とは〇〇工作の略
⓭奈良県明日香村で発見された〇〇〇古墳
⓯県庁所在地が津市である県
⓱ラグビーではコレで5点獲得
⓲早起きは三文の〇〇
⓳「枕草子」に代表される美的感覚。「あはれ」と「〇〇〇」
㉑しりの部分。〇〇〇を強打した
㉒骨の〇〇まで冷え込む
㉓となり近所に住む人。汝の〇〇〇〇を愛せよ
㉕留守番のこと
㉙開店祝いに贈る胡蝶〇〇
㉛こころみ、試行。タイム・〇〇〇〇
㉝自分と他人。〇〇共に認める
㉟よく燃える性質。〇〇〇〇〇廃棄物
㊱死後に遺した財産。〇〇〇相続
㊳日本の秋を飾る花
㊶四角〇〇〇。〇〇〇楚歌
㊷漆器は木や紙などに〇〇〇を重ねて作る工芸品
㊹推理小説で〇〇〇な結末に驚く
㊻ダブルベースともいう大型の弦楽器
㊼管弦楽、管弦楽団

応募の方法

「解答」「所属組合名」「氏名」「住所」を書いて、メールかはがきで送ってください。紙面の感想、職場のできごとや近況などを一言書き添えていただければうれしいです。正解者の中から10人に図書カードをおくります。

なお、送っていただいた一言は「仲間の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

送付先
〒530－0041大阪市北区天神橋1丁目13－15　大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部
nakama@osaka-jichiroren.jp

応募の締め切り／2月28日
正解と当選者の発表／2022年3月号の紙面に掲載

10月号の解答
「アキノナナクサ」

サ	イ	キ	■	ア	マ	ク	チ
イ	ン	タ	イ	■	ト	ウ	ダ
ナ	シ	■	ツ	ナ	■	セ	イ
ン	■	シ	キ	ン	セ	キ	■
■	シ	ユ	ウ	キ	ン	■	カ
ツ	ノ	■	チ	ユ	■	タ	イ
イ	プ	ツ	■	ウ	ミ	ナ	リ
カ	エ	リ	ミ	■	エ	ン	キ

10月号の正解と当選者

2021年10月号「クロスワードパズル」の正解は「アキノナナクサ」でした。各職場からハガキ7通、メール49通合計56人から回答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。（敬称略）

▼宮武ゆめの（大阪府職労）
▼山本　明彦（堺市職労）
▼久保　侑平（岸和田市職労）
▼垣生　理貴（門真市職労）
▼木田　陽子（豊中市職労）

仲間の声

■欠員がいて当たり前で、欠員がなければ人が潤ってる。そんな感覚にならないようにしたいです。
木田　陽子さん（豊中市職労）

■3回目のワクチン接種が勧められていますが、抗体検査の結果受けるようにしてほしいです。2回目接種後のような強い倦怠感はできれば避けたいです。また、人員を増やしてほしいです。
久保　侑平さん（岸和田市職労）

■「ウィズコロナ」で経済格差がますます大きくなっていると感じます。食品・ガソリンいろいろ実質値上げで「またか～」という感じ。政治家のみなさんには、格差是正政策を切に望みます。
北田　俊子さん（大阪府職労）

■オミクロン株や第6波が懸念される昨今ですが、万全の体制で臨みます。いのちもくらしも守るため。
山田　愛さん（岸和田市職労）

■コロナで弱者はさらに弱者になっています。万博よりも直接的な生活支援が必要です。
香西　資子さん（大阪府職労）

■働くことが大事にされない世の中になってきています。8時間いきいき働けばまともにくらせる社会の実現にむけて、がんばりましょう。
森　秀一さん（大東市職労）

仲間の情報&ひろば

維新が大阪でやってきた改革って何だろう
大阪の自治体「まるわかり研究」がスタート

大阪の自治体の状況はどうなっているのか、まるわかりにしようと始まった研究会。12月22日に第1回全体研究会を開催しました。

共同代表の中山徹さん（大阪自治体問題研究所）は、「大阪でやってきた改革を全国でやらせてほしい」と維新の会が主張する中で、どれほど住民福祉を切り捨ててきたか、大阪でやってきた改革は何であるのかを明らかにして全国に発信したいと提起しました。

「堺では、お出かけ応援バスの改悪を市長が提案したが、市議会では維新を除く全会派が反対し否決された」「維新首長でなくても、維新への支持が広がると、維新寄りの施策をすすめる『維新化』がみられる」などを討論。今後、各自治体での住民福祉切り捨ての実態を明らかにすることになりました。

「大阪の自治体まるわかり研究会」スタート集会（11月20日）では、中山徹さんが講演